

【施策評価調査】

施策名	3-2-2	環境学習の充実		98	「エコ・ハウスたかねざわ」での環境問題の啓発事業を通し住民が主体的に事業を展開することを図り、また、それをコーディネートする人材を育成する。将来的には住民による環境NPOを設立する。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部環境課		担当	環境担当	
			リーダー	金澤 公二	
環境変化	特にありません。				「エコ・ハウスたかねざわ」を環境学習やリサイクル活動の中心的施設と位置付け、住民に親しみやすい環境学習の機会を提供し、リサイクル活動の参加者拡大を図ります。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：環境学習・体験年間参加者数(人)	平成16年度実績	計画	1,200人	1,250人	1,300人	1,350人	1,400人
	1,161人	実績	1,111	1,122人	1,874人		
指標：人口1人・1日当り可燃ごみ排出量(g)	平成16年度実績	計画	285g	283g	281g	279g	277g
	285g	実績	318g	322g	327g		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
	決算	10,000,000	10,000,000	10,289,365		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
エコ・ハウスたかねざわ運営管理費	H21 現計 10,000,000	利用者数	環境学習や自然の素材を使った工作教室などの体験メニューを更に充実させ、環境保全活動に取り組む人材や指導員の育成に取り組んでいきます。		今後の方向性 (総合評価)
	H22 計画 10,000,000				
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	継続した学習機会・啓発活動を行いながら、各部課で行っている事業の調整を行いながら新規メニューを組み込む等施策展開を図っていきます。	
現状水準維持			
総合評価	後期計画に向けて、エコ・ハウスを前面に押し出した施策展開の中で、より成果を上げるためにもこれまでの取り組みを検証し、広い視点を持った事業の工夫を引き続き行っていくことを期待するとともに、エコ・ハウスの運営形態、今後のあり方については常に検証しながら施策展開を行うこと。		